令和６年度子ども参画型社会創造支援事業【青葉区】

「N（なかやま）プロジェクト」

中山市民センター×青葉区中央市民センター

1　事業概要

中山市民センター管轄内では地域行事やイベントなどが多数開催されており、担い手となる若者が実践力を身につけるために、学校外での活動や異年齢との交流が求められています。そこで、仙台青陵中等教育学校と中山中学校の生徒の皆さんが小学生へ向けた講座の企画・運営を行うことで、地域での活躍の場と小学生との交流の場をもち、中高生の地域人材の育成と、小学生の地域への愛着を育むことを目的としています。

↑定例会の様子

2　令和６年度の活動

↑子どもたちの時間割

令和６年度は６月から毎月１回程度の定例会を行い、小学生へ向けた講座の企画や準備を進めていきました。１０月にNプロジェクトメンバーの企画講座「ようこそ おばけの学校へ」を開催しました。おばけの学校「霊界小学校」の授業を人間の子どもたちが体験していく内容です。授業内容は社会や国語、理科、音楽などに加え、消えた校長の行方を探す謎解きの要素もありました。授業ではスライム作りやイントロかるた、おばけクロスワードパズルなど、Ｎプロジェクトメンバーの楽しいアイデアがたくさんつまった授業でした。また、中山市民センターまつりでは児童館エリアでのボランティア活動を行いました。

3　成果・今後の展望

●成果と課題

↑音楽の授業（イントロかるた）

成果は、中高生が主体的に講座に向けた企画・運営を行い成長した点です。定例会では、自分たちで司会進行を決めて役割分担をおこなうことで、メンバーそれぞれが責任感をもって活動に取り組みました。企画講座では子どもたちを引っ張りながらも、緊張をほぐしたり、臨機応変な声掛けをしたりする姿が見てとれました。自分たちの良かったところや子どもたちのアンケートや反応をもとに、次回の企画を考えるなど、プロジェクトメンバーとしての意識も高まっています。

一方で、課題としては、中山中学校のメンバーが少なかったり、中学１・２年生の参加が少なかったりと募集の面で課題が残っています。また、定例会に参加するメンバーが固定しなかったので、来年度は継続参加者を促しメンバーのアイデアをさらに生かしていきたいと考えています。

●今後の展望

↑理科の授業
（ダイラタンシースライム作り）

本事業の前身である「青陵インパクト」や「青陵プロジェクト in 中山キッズ」で実施した小学生向け講座に参加した子どもたちが、Ｎプロジェクトメンバーに加入するという良い流れが出来ています。本事業が継続的に中高生の人材育成の場となり、地域づくりや地域コミュニティづくりの一助となるよう、令和７年度は部活に学業に忙しい中高生が無理なく参加でき、かつ責任感と充実感をもった活動になるよう環境を整えていきたいと思います。